

人権だより あかまっ子

平成26年12月
赤麻小人権教育係

12月4日～10日は世界人権週間。みんなで人権について考える機会を設けました。子どもたちは、人権標語を親子で作成したり、人権集会で劇団「ばばんご」による「おいわ伝説」を観劇し、「思いやり」について「みんなの幸せのためにできること」を考えたりしました。また先生たちは、職員研修を行い、外国人の人権について考えました。（その内容は、次号で紹介します。）

そこで、今回の人権だよりは、『人権標語クラス代表作品』と『人権集会で子どもたちが考えたこと』を紹介します。

人権標語クラス代表作品



※人権集会のはじめに全校児童の前で発表してもらい、その後、ことばの広場に展示しました。短冊にとっても素敵に書かれてあるので、画像で紹介します！(^)!
他の子どもたちの作品は、教室の廊下に掲示しました。どれも心がほっこりするものばかり。ご協力ありがとうございました。

人権集会で子どもたちが考えたこと

12月10日の人権集会は、藤岡にある劇団「ばばんご」による「おいわ伝説」を鑑賞しました。部屋地区につたわる民話をもとにした話で、台風や大雨で起こる水害を防ぐために、一人の少女がみんなのために人柱になるという内容でした。子どもたちには、思いやりの視点で劇が見られるように、友達にしてもらった（言ってもらった）ことで「うれしいこと」や「ありがとう」と思ったことを事前に考えてみました。観劇後は振り返りの時間をとり、1～3年生は「お友達の気持ち」を考え、自分はどんなことができそうかを、4～6年生は自分の中の「思いやりの心」を育てるために、どんなことをしていきたいかを考えました。子どもたちが考えたことをいくつか紹介します。

※ そのまま載せてあるものもありますが、いくつかの同じような考えをまとめたり、言い方を少し訂正したりしてあります。

1年生

- ♪ けんかをしたら、「ごめんね。」って言って、なかよくする。
- ♪ おともだちがブランコやてつぼうなどを「かして。」っていったら、かしてあげる。
- ♪ 「いっしょにあそぼう。」って言って、なかまにいれて、なかよくあそぶ。

2年生

- ♪ やさしいことばをつかっておはなしする。
- ♪ わたしだけでなく、みんながしあわせになれるようにしたい。
- ♪ お友だちのはなしをよくきいてあげる。

3年生

- ♪ 友だちの気持ちわかるようになりたい。
- ♪ 自分ができる事があったら、力になってあげたい。
- ♪ お友だちにやさしくしてもらったら、「ありがとう。」と言いたい。

4年生

- ♪ お年よりのかたが、たいへんそうだったら、手をさしのべられるようになりたい。
- ♪ 何かをする時（言う時）、自分がやられたらどうかということをまず考えてみたい。
- ♪ 家の人がつかれていたら、自分から進んで助けたい。

5年生

- ♪ 自分が楽しい、幸せだというときも、他の人はどうかなと考えるようにしたい。
- ♪ いつもおいしいご飯を作ってくれるお母さんにかたをもんであげたい（感謝して食べたい）。
- ♪ 友だちのよいところをたくさん見つけて、しょうかいしたい。

6年生

- ♪ 人に優しくすることは、はずかしいことではないので、自分がやった方がいいと思ったことはやりたい。
- ♪ 相手の小さな変化に気付いてあげたい。
- ♪ けんかをした時は、ことばで解決できるようにしたい。